

## 流星群表——太陽黄経順一覧表と補足(小関正広)

前回発表した流星群表はページ数が多く、しかも、略記号のアルファベット順であったので、それらの目次にあたる太陽黄経順の一覧表を作成した。また、回帰直線の諸要素を示し、エクセルによるプログラム例を掲げて読者が独自に輻射点移動を計算できるようにした。

前回の表に#411CAN(c Andromedids)が脱落していたのと、#388CTAの軌道要素に誤りがあったので、追加、訂正を行った。また、#372PPSを2群に分けた場合を追記した。